

“龍ナビ(龍大就職ナビ)”でインターンシップ情報をチェック

ログイン方法

“龍ナビ”へ今すぐアクセス

“龍ナビ(龍大就職ナビ)”では、インターンシップ関連を含め、様々な情報収集が可能です。
 キャリアセンターのTOPページにアイコンがありますので、
 クリックしてログインしてください。

ブックマークを推奨します
 URL <https://career.ryukoku.ac.jp/>

1 キャリアセンターTOPページ



2 龍ナビログイン画面

在学生のみなさまへ
 龍大就職ナビ
 (龍ナビ)



ポータルサイトにアクセスする時のID・パスワードでログインすることができます。(全学統合認証)



3 龍ナビメニュー画面



インターンシップ情報検索

「協定型インターンシップ」
 「自己応募型インターンシップ」
 の募集情報が検索できます。
 (企業名や業種、実習地などから検索可)

協定型インターンシップ出願登録

協定型インターンシップ出願票を出力できます。
 必須事項を登録してプリントアウトした出願票に、志望理由・承諾事項を記入のうえ、写真を貼ってインターンシップ支援オフィス(大宮学舎はキャリアセンター)に提出してください。

インターンシップ体験記の閲覧

過去にインターンシップに参加した学生の体験記を検索できます。
 実際の実習プログラム内容や体験談を読むことができます。

2020 INTERNSHIP PROGRAM

龍谷大学インターンシッププログラム

お問い合わせ先

龍谷大学 キャリアセンター・
 インターンシップ支援オフィス(深草)
 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
 Tel:075-645-2322 Fax:075-645-2380
 intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

龍谷大学 キャリアセンター・
 インターンシップ支援オフィス(瀬田)
 〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5
 Tel:077-544-7265 Fax:077-544-7264
 intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

You,
 Unlimited



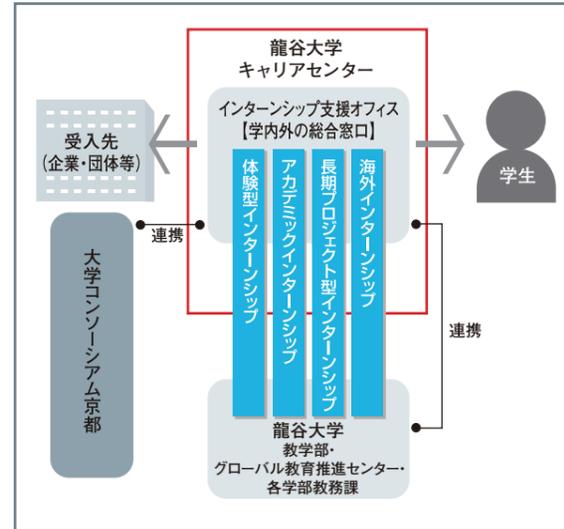
基本理念

龍谷大学で実施するインターンシップは、社会現場での実体験をとおり、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして位置づけ全学的な取り組みとして展開しています。

このパンフレットでは、「協定型インターンシップ」、「大学コンソーシアム京都インターンシップ」について紹介します。

- ①社会現場を踏まえた幅広い知識とスキルの教育
- ②人生観・職業観確立への支援
- ③自主性・自立性・社会性の涵養等を目的としたコーオペ教育

運営体制



インターンシップ・プログラム 対照表

インターンシップに参加することによって、実社会での経験を通じて将来の進路を考えるきっかけになります。また、自分の強みや弱みを知ることで、大きく成長するチャンスが生まれます。3年生はもちろん、新1～2年生も積極的に参加してください！

実施主体	龍谷大学			大学コンソーシアム京都		
	協定型インターンシップ			ビジネス・パブリックコース	長期プロジェクトコース(プログレス)	
プログラム名称	ベーシック	経済同友会 (旧東京チャレンジ インターンシップ)	グローバル			
プログラム概要	龍谷大学が協定を締結する企業・団体等において約2週間のインターンシップ実習を行います。全21講におよぶグループワークを主体としたゼミ・演習形式にて行う事前・事後学修が充実しています。	龍谷大学が協定を締結する経済同友会会員企業(大手有名企業)において2～4週間のインターンシップ実習を行います。事前・事後学修は「ベーシック」「グローバル」と合同で実施します。	グローバルな視点や国際感覚を醸成するためのプログラムで、2020年度新設予定です。事前・事後学修は「ベーシック」「経済同友会」と合同で実施します。	京都にある大学が連携して運営する「大学コンソーシアム京都」が実施するインターンシップです。企業・行政機関・非営利組織(NPO・NGO等)において2週間～1か月程度のインターンシップ実習を行います。	京都にある大学が連携して運営する「大学コンソーシアム京都」が実施するインターンシップです。企業・行政機関等が提示したテーマに沿って、約5ヶ月間、プロジェクト型インターンシップ実習を行います。	
対象	全学生	学部1・2年生	学部2年生以上かつGCCP(グローバル・キャリア・チャレンジプログラム)を修了した者	全学生	全学生	
参加決定までのスケジュール	2ページ目を参照					
選考・マッチング方法	書類および面接選考により本学にてマッチング	書類および面接選考により本学にてマッチング(予定)	書類および面接選考により本学にてマッチング(予定)	書類および面接選考により大学コンソーシアム京都にてマッチング	書類および面接選考により大学コンソーシアム京都にてマッチング	
実習期間	原則、2週間(実働10日間)	原則、2週間(実働10日間)～4週間程度	原則、2週間(実働10日間)	2週間～1ヶ月程度	5ヶ月間程度(受入先ごとに異なる)	
実習時期	夏期休暇中(原則、8/19(水)～9/8(火))	夏期休暇中(原則、8/19(水)～9/8(火))*1	夏期休暇中(原則、8/19(水)～9/8(火))	夏期休暇中(8月中旬～9月中旬)	6月中旬～11月下旬(受入先ごとに異なる)	
事前・事後学修	インターンシップ参加前	90分×13回	90分×13回	90分×10回 60分×3回	90分×10回	
	インターンシップ参加後	90分×8回	90分×8回	90分×2回 60分×3回	90分×10回	
	合計時間数	31.5時間	31.5時間	31.5時間	24時間	30時間
	実施会場	本学 大宮・深草・瀬田キャンパス	本学 大宮・深草・瀬田キャンパス	本学 大宮・深草・瀬田キャンパス	本学 深草キャンパス	キャンパスプラザ京都
プログラム内容	3ページ目を参照			大学コンソーシアム京都のパンフレットを参照		
単位認定	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	

*1 東京オリンピック・パラリンピック開催の関係から、一部実習先の実習日が授業期間と重なる可能性があります。出願前に必ず実習日程を確認してください。
*2 単位認定の有無や要件については、各学部の履修要項もしくは教務課にて確認してください。

2020年度 インターンシップ・プログラム 参加決定までのスケジュール (予定)

日程	龍谷大学			大学コンソーシアム京都
	協定型インターンシップ			ビジネス・パブリックコース 長期プロジェクト コース(プログレス)
	ベーシック	経済同友会* (旧東京チャレンジ インターンシップ)	グローバル*	
4/7(火)～4/10(金)	インターンシップ説明会			
4/17(金)～5/13(水)	WEBエントリー			
5/1(金) 5/7(木) 5/8(金)*AMのみ	出願票の提出		*「経済同友会」「グローバル」の出願スケジュール等は上記インターンシップ説明会において案内します。	
5/15(金)・5/16(土)	出願票の提出・面接選考			
5/14(木)～5/19(火)	面接選考			
5/30(土)	選考結果発表			
6/1(月)	再マッチング希望者出願			
6/2(火)・6/3(水)	再マッチング希望者出願			
6/2(火)～6/8(月)	受講手続			

もし不合格なら、再チャレンジ!

大学コンソーシアム京都インターンシップ不合格者も出願可能!

*上記プログラム以外にも自ら実習先を探し出願する「自己応募型インターンシップ」があります。インターンシップ実習の日程が重ならない場合は、上記プログラムと併せて参加できます。

2020年度 協定型インターンシップ 授業計画(予定)

グループワークを主体とした事前・事後学修

計21回に及ぶ事前・事後学修は、専任教員がコーディネーターとなり、各学部教育として展開しているゼミ・演習のように責任を持って運営します。

グループワークを主体として進行し、問題解決等に取り組むことによって、課題発見力や主体性、発信力や傾聴力といった社会で求められる様々な能力を身につけることができます。

学部・学科を越え多様な価値観にふれる

普段は関わるのが少ない他学部・学科の学生との交流は、多様な価値観にふれる貴重な機会です。

また、事後学修ではインターンシップでの体験内容を学生が相互に報告し合うことで、異なる実習先での学びを疑似体験できます。

	学舎	日	時	講師	講義名	内容	
①	大宮	6/20 (土)	1限目	総合コーディネーター コーディネーター	オリエンテーション 龍谷大学の歴史 (自校史学修)	・学長あいさつ ・インターンシップ支援オフィス長挨拶 ・総合コーディネーターからのコメント ・インターンシップにどのような態度で臨むべきか ・事前・事後学修の概要と諸注意 ・自校史を知り「龍大代表」としての自覚を持つ	
			2限目				
			3限目				
			4限目				
②	深草	6/27 (土)	1限目	外部講師	ビジネスマナー①	外部講師によるビジネスマナー講習(心構え、第一印象、敬語の使い方、マナーなど)	
			2限目		ビジネスマナー②	外部講師によるビジネスマナー講習(電話応対(事前訪問時の電話応対)、来客応対、名刺交換、ビジネスメールなど)	
			3限目	外部講師 総合コーディネーター	卒業生による パネルディスカッション	「私にとっての職業。職業を通じて考える人生」	
学生による実習先直前訪問(6/29～7/10)							
③	深草	7/4 (土)	1限目	本学教員	講義	キャリア形成と業界研究(基礎編)	
			2限目	コーディネーター	事前学修グループワーク③	ゼミ形式によるグループワーク ・実習先の業界研究 など	
			昼休み	講演会の事前打合せ			
			4限目	本学教員	講義	能力検査、性格検査について	
④	瀬田	7/11 (土)	1限目	総合コーディネーター コーディネーター	実習直前 オリエンテーション	インターンシップの意義、準備、諸注意、ハラスメントについて	
			2限目		結団式	総合コーディネーターからのコメント	
⑤	深草	9/10 (木)	1限目	総合コーディネーター コーディネーター	実習後オリエンテーション	総合コーディネーター 実習後の確認 30分程度	
			2限目		事後学修グループワーク①	ゼミ形式によるグループワーク (インターンシップでの学修内容を共有し、報告にまとめる作業)	
			3限目		事後学修グループワーク②		
			4限目	教員	補講② ※	インターンシップ実習期間が実働10日間に満たない場合、補講①②の両方に出席が必要です。	
⑥	深草	9/11 (金)	1限目	総合コーディネーター コーディネーター	事後学修グループワーク④	ゼミ形式によるグループワーク (プレゼンテーション作成と各クラスにおけるプレゼンテーション)	
			2限目		事後学修グループワーク⑤		
			3限目		事後学修グループワーク⑥		
			4限目		学内報告会	各クラス選抜チームによるプレゼンテーション	
			5限目		評価会	企業担当者より評価をいただくと共に交流を深める	



▲「なぜマナーが必要か」をテーマにグループで話し合い、単なるノウハウに終始せず、自ら考え答えを見つける主体性を身につけます。



▲実習を通じて喚起された問題意識、関心、経験等を今後の大学での学修課題や人生設計(職業設計)につなげることで、インターンシップを総括します。



▲実習終了後の報告会で、実習生同士振り返りを共有し、学びの成果を深めます。



▲報告会終了後の評価会。実習受入先担当者との交流を深めます。

※上記プログラムの学舎・内容は変更になることがあります。

※インターンシップ実習期間が実働10日間に満たない場合、補講への出席が必要です。上記補講①②の予定を空けておいてください。

協定型インターンシップ 実習生インタビュー

参加した学生は確かな成長を実感し、未来に向けて羽ばたきます。



上杉 裕也さん

文学部仏教学科
3年生

インターンシップ先▶ 小泉産業株式会社 [協定型インターンシップ(ベーシック)]

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A.会社という組織の成り立ちや社員の方はどういうモチベーションを持って働いているかを知りたいと思ったからです。そして自分が考える「働く」というイメージと、実際に社員の方が働いている姿を見比べ、その違いがどういうものを理解したうえで就職活動に活かしたいと思いました。仕事に必要な資格・スキル・ビジネスマナーはネットで調べれば分かるのですが、社員の方がどのような思いで働いているかまでをネットだけで知ることは困難です。このインターンシップを通して、実際の現場を少しでも多く知ることが重要であると考えました。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

A.「何事も実際にやってみないとわからない」ことを発見できたことです。小泉産業株式会社ではBtoBメーカーの営業、物流、商品開発、広報の仕事を経験させていただきました。いろいろな部署の方と出会い、それぞれの仕事のやりがい、面白い点および苦労した点を教えていただきました。同じ部署の中の仕事といっても日々課題があり、それに真摯に取り組む姿が印象的でした。また、自分に足りていないと思うことにも気づき、今後の課題を見つけることができました。

Q. インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

A.インターンシップで何を学び取りたいかを考えておくことです。それをもとにしてインターンシップ先を選ぶとより主体的に取り組めて良いと思います。私は様々な部署を見てみたいという考えから小泉産業株式会社を選びました。もちろん最初は慣れない状態からの体験でしたが、10日間という長い時間をかけた体験でじっくり話を聞くことができました。何を学びたいかを考えておくことで、学生と企業がお互いに実り多いインターンシップにすることができるのではないかと思います。



改井 瑞穂さん

社会学部
コミュニティマネジメント学科
2年生

インターンシップ先▶ 花王株式会社 [協定型インターンシップ(経済同友会)]

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A.大学に入学してから1年間は、バイトのためのカリキュラムや比較的単位の取りやすい授業選択をしていました。何のために大学へ来たのだろうと思うことが多くありました。また将来に対する漠然とした不安もありました。そんな時キャリアセンターから1、2年生向けの就職活動ではない自分を高めるためのインターンシップが、東京の大手企業で長期間行われるというお知らせを見て「今の自分を変えられるチャンスだ」と思いエントリーしました。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

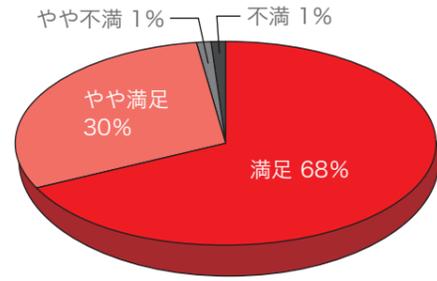
A.インターンシップが終わってから明らかに以前と変化したことは学ぶ姿勢です。今回の実習で、世の中のあらゆる事柄が連鎖して社会が成り立っていることをあらためて実感しました。そのため、大学での勉学も様々なつながりを得て、社会に出た際の自分の力になるのだと視野が広がり、一つひとつの授業に取り組む姿勢や社会の変化に敏感になりました。

Q. インターンシップに取り組む際の注意点など後輩へのメッセージをお願いします

A.大学生活の中で一番の失敗は挑戦しないことだと思います。行動を起こさない限り成功への前進はありません。見たり聞いたりすることも大切ですが、一番重要なのは試すことです。1、2年生だからこそできる、成長するためのインターンシップがあります。龍谷大学は学生に多くの情報を発信しています。「バイトがある」とか、「時間がないから」ではなく、自分の大学生活を有意義にするきっかけの一つにしてみてください。

2019年度 協定型インターンシップ実習生(学生)アンケート結果

Q.プログラム全体を通して満足度はいかがでしたか



- ・社会の構造や経済に関する知識、また他大学生との交流は自分にとってとても大きな刺激となりました。
- ・学校生活で自分がしなければならぬことが明確になりました。
- ・2年生から貴重な体験ができました。大学生活をただただと過ごしてきた自分を見つめ直す機会となりました。常に学び続ける姿勢が身につきました。

■キャリア形成・就職活動との関係

- ・インターンシップに実際に参加してみないと知ることのなかった職業観や自身のこれからの課題について知ることができました。
- ・1dayでは見ることでできない、会社の内部の人間関係や取り扱い商品の細かい詳細について知ることができました。働くことの大変さややりがいの理解を深めることができました。
- ・卒業生によるパネルディスカッションや、業界研究に関する講義などを受けることができ、就職活動に対する疑問などが少し解消されたように感じます。これから就職について考える際の指針のようなものを見つけることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。
- ・苦手なことを少しでも克服できたことや、どのような職種が自分には向いているのか、楽しいと思うのかを知ることができたのが、大きな収穫だと思いました。
- ・社会に出て働くイメージがつかめました。
- ・インターン先の社員の方や先生、事前・事後学修で出会った学生と話してみても、自分のキャリア形成のヒントをたくさん得ることができました。

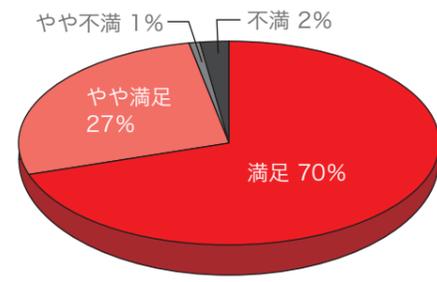
■事前・事後学修・大学のサポートについて

- ・事前学修や事後学修により、明確な目的を持って実習に挑むことができました。
- ・多くの時間を使い、インターンシップに行くにあたって知っておくべきマナー、実習先の予備知識、龍谷大学学生としての自覚を持つための大学の歴史を知る講義等々、入念に準備ができました。
- ・インターンシップ事前講義やインターンシップ後のフィードバックなど実習以外の面で充実していた面がすごくよかったですと感じました。

■大学の勉強との関係

- ・インターンシップに参加することで自分がどれだけ狭い世界で生きていたかがわかりました。

Q.企業・団体でのインターンシップ実習に対する満足度はいかがでしたか



- ・など、大学の講義などでは体験できない貴重な経験をさせていただきました。
- ・単一の作業ではなく、人生観などのレクチャーも含んだ様々な種類のプログラムを用意してくださったため、10日間がとても充実していたと感じました。
- ・実際の職場で職員の皆さんが実際にされているお仕事を私も体験でき、どういったお仕事をされているのかを知ることができたり、何が向いているのかを知ることができました。また、勉強している英語が、どれだけ通用するのかを把握できるくらい、多くの外国人のお客と接することができたのも良かったです。
- ・短い期間でしたが様々な業務を体験させていただき、業界や企業への理解を深めることができました。
- ・社内の雰囲気もとてもよく、気軽に質問できる環境にあり、意欲的に取り組みました。
- ・普段の生活やアルバイトでは、決して経験することのできない、現場での作業であったり、設計の仕事をしてもらい、とても良い経験をすることができました。

■キャリア形成・就職活動との関係で

- ・将来いきなり社会人として頑張るよりも事前にインターンシップを経験しておく、心の余裕ができますし、また自分に足りないものを認識し補うことができるため参加して良かったと思いました。
- ・違う大学の方と仲良くなり就活に関することなどで情報交換ができるようになりました。
- ・大学の支援も手厚く、普通のインターンは単日もしくは長くても3日ほどのものが多い中、事前学修から事後学修までみっちり時間をかけて学習できたことはとてもありがたく思います。欲を出すなら、期間はもう少し長い方が嬉しかったです。ようやく慣れたころに終了してしまうのはもったいない気がします。

■実習を通して得られたことなど自身の成長について

- ・こういう機会がなければ経験できなかったことがたくさんできました。社員の方に、企業のお話を密に聞くことができ、アドバイスもたくさんいただきました。
- ・他の大学の人とも関わって意識が高まりました。10日間という長めの期間だったから分かったことがあると思います。
- ・インターンシップに参加する前はチャレンジ精神が欠けていましたが、参加してからもっといろいろな職業を知って自分のやりたいことを見つけたいと思えるようになりました。
- ・大学ではグループワークをする機会がありませんでしたが、インターンシップでは毎日グループワークをしてグループのメンバーと協力して1つのものを作り上げる楽しさを知ることができました。

■実習先について

- ・1日の業務内容がすべて異なり、様々な業務を経験することができました。営業同行では実際に利用者の方の自宅や病院に訪問する

協定型インターンシップ 実習内容(参考)

学生のみなさんの自立とキャリア形成を支援するために、実習先の社員・職員と同様の就業体験ができるよう、実践的なプログラムになっています。

実習内容例：A社(営業系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・業界説明・会社説明
●月●日	店舗実習・接客業務
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	他大学生とともに擬似会社説明会の体験
●月●日	店舗実習
●月●日	商品管理業務・ピッキング
●月●日	営業体験(配送・交渉)
●月●日	産業フェア見学・総括・意見交換会

(全10日間)

実習内容例：B社(技術系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・会社説明
●月●日	製造部門の業務説明
●月●日	部品加工
●月●日	部品加工
●月●日	設計部門の業務説明
●月●日	CAD操作
●月●日	CADによる図面作成
●月●日	営業所見学
●月●日	プレゼンテーション準備
●月●日	成果発表会

(全10日間)

実習内容例：C社(スポーツ系)

日程	内容
●月●日	スケジュール説明・会社概要
●月●日	大会準備・企画
●月●日	大会会場設営・搬入
●月●日	開会式・リハーサル準備
●月●日	式典準備・運営
●月●日	抽選会運営・選手誘導
●月●日	式典準備・運営
●月●日	式典リハーサル
●月●日	閉会式運営
●月●日	最終報告会

(全10日間)

2020年度 協定型インターンシップ シラバス

授業科目名	協定型インターンシップ	
担当教員名	協定型インターンシップ総合コーディネーター、各学部選出教員(コーディネーター)	
担当部署	インターンシップ支援オフィス	
単位数	学部・カリキュラムにより異なる	
講義概要	社会現場での実体験を通して、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の仕事で必要となる能力・知識を知り、具体的な抱負を持って学生生活の質向上につなげることができる。 ・将来就きたい業界や企業(団体)について、自分で調べることができるようになる。 ・基本的なビジネスマナーを身につける。 ・立場や年齢などが異なる他者とのコミュニケーションスキルを向上させる。 	
講義方法	事前学修、夏期休暇中の実習、事後学修からなる。事前学修では、企業・業界研究の方法、ビジネスマナーの練習、実習目標の設定など、基本的知識と心構えを習得するとともに、龍谷大学の歴史を学び、自覚を持って実習に参加できるよう準備をおこなう。個々の目標に応じて実習に取り組んだ後、事後学修では実習を振り返り、成果報告会をおこなう。	
講義形態	講義・グループワーク(事前・事後学修)/実習(10日間以上)	
資料配付方法	事前・事後学修において配付します。その他、manabaを通じて配付することもあります。	
授業時間外における予・復習等の指示	事前・事後学修においては、レポートなどの課題を課します。実習中は日報を書き、日々の学び、気づきなどを振り返っていただきます。	
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 以下の①-③の要件を全て満たす者を合格とする。 <ol style="list-style-type: none"> ①所定の事前・事後学修全てに出席した者 ②受入団体が定める実習全てを行った者 ③所定の課題全てを提出した者 実習日数が補講を含め5日間未満となった者、以下の3に記載する理由以外により事前・事後学修あるいは実習を欠席した者は、不合格とする。 次の①-⑦のいずれかの理由により事前・事後学修あるいは実習を欠席したものについては、欠席理由証明書を提出する場合は、その欠席を考慮する。ただし、事前・事後学修のうち、グループワーク以外を欠席する場合は、欠席分のプログラムの録画を視聴し、レポート提出を必須とする。また、事後学修を欠席する場合、上記とは別に別途課題を指示する。 <ol style="list-style-type: none"> ①病気、怪我などの体調不良等 (医師診断書) ②親族(原則として3親等までの葬儀への参列 (会葬礼状等) ③交通機関の遅延等 (交通遅延証明書等 ※) ④交通事故、災害等 (交通事故証明書等) ⑤単位互換科目の試験受験(履修許可通知、試験実施日が確認できる書類) ⑥裁判員(候補者)への選任(呼出状) ⑦社会福祉実習、教育実習、給食経営管理実習など、事前・事後学修あるいは実習を欠席しなければ、学生の進路に著しく不利益が生じる場合 <p>※交通遅延証明書は、「本人が乗降した際に各駅にて受け取ることができるもの」のみを証明書として取り扱う。(Web発行によるものは本人が乗車したことを証明するものではないため、欠席理由の証明書として取り扱わない。)</p>	
テキスト	特になし	参考文献 特になし
教員との連絡方法	インターンシップ支援オフィスを通じて、もしくはmanabaを通じて連絡をとってください。※クラス担任の指示に従ってください。	